

No.757(11000年一月一日号)から  
No.789(11000年二月二日)まで

No.757(11000年一月一日号)

◇巻頭言◇ 反撃の体制を作る

情勢は、「抵抗・要求」、原則を求めている

シアトルの街を埋めたデモ

若林 ひろし

—最終宣言を出せなかったWTO閣僚会議・MAIはどこへ行く—  
ただではすまない二〇〇〇年春闘へ

稲村 守

—日産合理化と現代労働運動—

資本主義批判と社会主義

藤澤 晃

—職場活動は当然、さらに視野を社会的に—  
やるべきことやつてない日本の労働運動

小西 純一郎

—アメリカ労働運動視察報告(PART2)—

介護保険導入で犠牲は介護労働者とお年寄り

—ある介護保険での勉強会から(一)—

◇読む、詠む、積ん読◇ 現代政治に関する「三つの本」

読者からのおたより

No.758(11000年一月二二日合併号)

◇巻頭言◇ 労働組合「再生」に全力つくす仲間たちへ

滝野 忠

日本政治の新たな展望を切り拓け

上野 建一

—新自由主義路線の徹底で自公の矛盾はさらに拡大—

ILO勧告は国鉄闘争勝利の展望をつくった

横田 厚

—国鉄闘争勝利で大合理化に反撃を—

「有限会社オホーツク」を設立しました

—国労「紋別闘争団」の報告から—

国鉄闘争をめぐる情勢と課題

—労働委員会を守り、国鉄争闘を応援する会・結成総会—

水島 圭一

バイオ産業二五兆円市場への爆走!

—二十一世紀「二大革命」を前にして—

グローバル経済と深まる経済対立

富山 栄子訳

—第五四回国連総会でのキューバ外相の演説(中)—

社会福祉に競争原理導入は本末転倒

—ある介護保険の勉強会での発言要旨から(二)—

◇読む、詠む、積ん読◇

危ない飛行機が今日も飛んでいる(上)(下) 草思社(各巻 一六〇〇円)

◇巻頭言◇ 日経連総会にみる「人間主義」

滝野 忠

― 不断にクビ切る「経営体質」つくれ―

労働組合員は何を求めているか ― 各組合のアンケート調査から―

◇資料 平成十二年版日経連労働問題研究会報告から◇

今次労使交渉の課題

「痩せ我慢」の精神に徹し、輪をひろげる

― 本も読むにも時間なく、集まるうにも集まれぬ―けれど―

◇キューバ外相の国連総会での演説から◇

富山 栄子訳

宣戦布告なき対キューバ戦争

アメリカはキューバに何をやってきたのか(上)

◇ある介護保険の学習会の発言要旨から◇

「介護」は哲学、思想である ― 悲しい日本の高齢者福祉―

◇読む、詠む、積ん読◇

世界経済白書(一九九九年版) 経済企画庁編 一五八〇円

◇交流の広場◇ 社民党支持から民主党支持へ方向転換

G 市労連の状況報告

編集部だより

読者からのおたより

No.760(二〇〇〇年二月一日号)

◇巻頭言◇ 国労は「覇気」をもて!

「社労センター」十年を軸に

松枝 住宏

― “一歩踏み込もう” 大震災・改憲下の兵庫の労働運動(上)―

労資関係は労働者生活の不安で緊迫化

― 二〇〇〇年春闘の攻防―

◇キューバ外相の国連総会での演説から◇

キューバは世界に訴える

富山 栄子訳

アメリカの「対キューバ戦争」に抗して(下)

介護する者が「される」者より高いあべこべ認定

滝野 嘉津子

― 生活がないコンピュータ判定―

三割しか判定はあたっていない

― 土肥徳秀氏「コンピュータ判定は“全国一律不公平”」講演要旨―

◇読む、詠む、積ん読◇『経営学』小倉昌男著

読者からのおたより

No.761(二〇〇〇年二月二一日号)

藤澤 晃

◇巻頭言◇ 大衆の力はものすごい政治力になる

吉野川・第十堰住民投票からまなぶもの

日本国民、公共事業に反旗 フィナンシャル・タイムズ一月二五日付論評

◇資料と解説◇

「日の丸・君が代」に反対の意見広告

―千葉県高等学校職員組合中心に―

練馬区職労の「いっさいの戦争協力拒否」宣言  
私たちのかまえが問われている

松枝 佳宏

―大震災・改憲下の兵庫の労働運動(二)―

「新自由主義」の背後で極右の台頭

上野 建一

私を三内丸山に連れてって

月野 うさぎ

―マホロバ・マインズでの組合交流会に参加して―  
兵庫でワークシェアリング推進で合意

所沢市、川崎市で低所得者の減額・ゼロ措置

―三月「介護保険」議会でさらに風穴を―

資料1 介護保険市民相談員養成講座(二千年二月五日 東京社保協・全国老問研)

介護保険制度をめぐる最近の情勢をどう読むか 石川 満(日本福祉大学)

資料2 高齢者等の生活支援事業(例)

◇交流の広場◇ 運動方針では社民・民主支持、選挙方針は民主支持

読者からのおたより

編集部だより

No.762(二〇〇〇年三月一日号)

編集部

◇巻頭言◇ 「春闘」―ドイツ、アメリカ、日本

臨界事故、原子力行政、そして選挙

川野 弘子

―「脱原発とうかい塾」からの報告―

「原子の火に殺される」東海村民から

藤井 学昭

どこから、何から始めるべきか

松枝 佳宏

―日本労働運動再建への兵庫からの提案(下)―

◇読む、詠む、積ん読◇

日の丸・君が代の戦後史

自民、自由は五年以内に「改憲」主張

―「憲法調査会」で憲法論議はじまる―

寝たきりの人が「契約」できるの

―介護サービス実施に新たな問題浮上―

介護保険と介護サービス契約書について

高野 範城

―契約締結の問題点(一)―

読者からのおたより

No.763(二〇〇〇年三月一日号)

◇巻頭言◇ 一人ひとりの行動が勝利を呼ぶ、二〇〇〇年春闘勝利しよう！

「マホロバ」「みずほ」と現代社会 — 「日の丸・君が代」法の底流 —

ILO勧告の意義と私たちの課題 (二) 政府はILO勧告にしたがえ！

— 「国鉄闘争」の全面勝利解決を勝ち取る二・一六十勝 (北海道帯広地区) 集会から —

市長リコールは「民主主義の切り札」 — 三月末開始目標に準備すすむ —

◇交流の広場◇ たたかいの強化・再建いかに図るか

介護保険市民相談員養成講座 (二〇〇〇年二月五日 東京社保協・全国老問研)

介護保険と介護サービス契約書について — 契約締結の問題点 (二) —

読者からのおたより

No.764(二〇〇〇年三月二一日号)

◇巻頭言◇ 政府は世界の常識に従え！

ILO勧告でる！ — 意義と今後の闘い —

大政翼賛的政治状況をつくったもの — 現情勢の特徴と任務 —

国際会計基準導入で総額人件費管理はさらに徹底

駿々堂の倒産に見る「階層化」の現実

— 広がり増える正規と非正規の格差 —

村山元総理引退、「土井社民党」は…

十億円で日本長期信用銀行をたたき売り

— 金融再編で新たな金融グループへ —

「新潟市介護保障基本条例案」を三党派統一で議員提案！

— 地域保健福祉の基本理念、市の責務など明記 —

資料 新潟市介護保障基本条例 (案) 二〇〇〇年三月新潟市議会提出

読者からのおたより

大谷 一敏

滝野 忠

編集部

末松 至

政権研究班

小林 義昭

No.765(二〇〇〇年四月一日号)

◇巻頭言◇ 「手心」よりも、納得のいく公正・公平

「危機感」ない連合、JC大幹部たち — JC回答の意味するもの —

資料1 連合コメント 従来でない経営側の賃上げ抑制攻撃

資料2 日経連の奥田会長コメント 労使関係に配慮したギリギリの判断

◇資料と解説◇ 中小の春闘はこれから

「反失業・雇用確保」二〇〇〇年春闘勝利中央総決起集会から

◇資料 決議文◇ 「雇用も賃金も」ストライキで闘いとる！

解散・総選挙はいつか

政権研究班

権力機構も動揺してきた — 敵の弱点に目を向ける —

「雇用調整」で激減する正規労働者 — 連合が緊急雇用実態調査 —

「除名制裁の通告」は失効、制裁さるべきは中執

介護保険は社会福祉と質がちがう — 「整合性」論は不毛な論議 —

読者からのおたより

灰原 茂雄さん逝く — しめやかに三月二一日告別式 —

岡崎 ひろみ

編集部

滝野 忠

名古屋 哲一

No.767(二〇〇〇年四月一日号)

◇巻頭言◇ 現役の皆さんに負けないように

灰原茂雄さん講演から(二〇〇〇年一月一九日)

三池と向坂教室

国鉄反合研の発足と国労函館大会

国鉄反合研から地域反合研へ

全電通闘争 そして全電通反合研

総評時代には面識はなかったけれど

まるまると太った労大手帳

労研センター結成そして国労修善寺大会

「ある手紙」

劉少奇論文と書き込み

懐かしい楽しい語らい

年賀状「復活」

「暗夜打破」

社会主義革命と社会革命

「君たちはわかっていないよ」

遺稿『主権在民』

石河 康国

渡辺 和彦

宮坂 要

野村 一

大木 五郎

松永 裕方

稲村 守

濱崎 忠晃

三木 信之介

松里 福慈

松枝 佳宏

稲葉 耕一

河野 康臣

樋口 俊士

福田 実

No.767(二〇〇〇年四月二一日号)

◇巻頭言◇ 「最後の手段」・「民主主義の切り札」

四月二二日、神戸市長コール署名開始

総保守は新たな「国家目標」をもさく

—階級対立の激化は必至、どうたたかう—

旧財閥の終焉と新たな「独占体」の形成

—金融再編成の行き着く先—

「居抜き」内閣で政治はさらに悪くなる

—森政権(自公保)の性格と政策

まずは憲法の学習と集会から

—改憲攻撃に抗して—

『新潟市介護保障基本条例』賛成討論

◇投稿◇ 「国民の祝日」は天皇、皇室行事 “記念”する日ばかり

—『まほろば』『みずほ』と現代社会(No.七六三号)に寄せて—

読者からのおたより

特集・灰原 茂雄さんを偲ぶ(パート2)

「階級的」ということ

歩いてみたい道

やさしい笑顔と謙虚な態度

浜田 嘉彦

早田 昌二郎

稲石 馨

原 義弘

滝野 忠

編集部

上野 建一

稲村 守

小林 義昭

No.768(二〇〇〇年五月一日号)

◇巻頭言◇ 悔いの残らぬ勝利解決めざして

国労美幌闘争団

あらゆる行動に全力傾注―

新しい情勢にふさわしい理論と行動

― 私たちの活動に問われていること―

議員削減より行政のムダをチェックしろ

山下 けいき

― 私の議会(大阪茨木市) 討論から―

人事交流は組合つぶし、職場つぶし

日刊ちゅうたん

介護労働者対象に二つの労働組合結成

一時間でズボンをはいた人が自立

稲村 守

― ケアマネージャー交流会から―

特集・灰原 茂雄さんを偲ぶ(パート3)

ゆるぎない労働者への信頼

今村 稔

揺るぎない確信と全力投球

金平 博

これからですよ

木島 正道

私の「宝物」

小林 隆

読者からのおたより

No.769(二〇〇〇年五月一日・二日合併号)

◇巻頭言◇ 解散・総選挙と神戸市長リコール運動

松枝 佳宏

― キーワードは民主主義と生活―

迫りくる戦後民主教育の総決算

横堀 正一

― 教育基本法の改悪を許さない―

長期視点で労働組合再構築を

津野 公男

― 「新自由主義」の流れの中で

「生命倫理」置き去りで進むバイオ革命

水島 圭一

― ライフサイエンスは劇薬にも―

◇膠着状態の国鉄闘争に寄せて◇

渡部 隆一

運輸省案に対する態度と国労要求を

明確にして大衆行動のつみ重ねを!

許せない! 保育所統廃合前の約束破り

― 弱い者イジメは許せない!(上)―

介護保険スタートで「非人間」化進行

滝野 嘉津子

― 人権保障の観点で新しいルールつくれ―

動く朝鮮半島情勢

若林 熙

― 進むか、日朝国交正常化―

◇資料二〇〇〇・四・二六、『朝日新聞』論壇

日朝交渉で真の和解めざせ

読者からのおたより

No.770(二〇〇〇年六月一日号)

◇巻頭言◇

現代の「長期抵抗・統一路線」

勝利に向けて体制強化を！

滝野 忠  
国労名寄闘争団

—十年間の到達点を踏まえ前進しよう—

様変わりした連合メーデー

—来年メーデーは四月二十九日—

◇新潟県新津市からの報告◇

またウソを重ねるのですか

—許せない！保育所統合前の約束破り(下)—

◇ドキュメンタリー映画(羽田澄子監督作品)◇

『続・住民が選択した町の福祉 問題はこれからです』

「茨城・下館地域在宅介護を支える会」が上映

資料1 映画 続—住民が選択した町の福祉「問題はこれからです」あらまし

資料2 鷹巣町のワーキンググループについて

ゲリラ戦から正規戦へ—憲法状況の現段階(上)—

読者からのおたより

No.771(二〇〇〇年六月一日号)

◇巻頭言◇ 現代労働運動と『共産党宣言』

滝野 忠

神道と天皇と自公保政権

上野 建一

「憲法・平和・沖繩」の五月連休闘争

—新自由主義に天皇制は必要—

一日も早い納得いく解決を

—国労闘争団の心の叫び—

ILO九八号条約にそった社会正義示せ

佐野 周二

東京高裁での「陳述」から

◇国労留萌闘争団「解決要求」◇

「解雇撤回」、名誉回復、当事者の意見が最優先課題

経団連との統合で検討委員会設置へ

—日経連総会から—

赤十字と戦争従軍看護婦の涙 忘れない

木南 由子

フィリピン先住民族の暮らしを奪う日本のダム

矢野 和友

生活と環境、心を活かすケアプランを

—ケアマネイジャーと利用者の役割と任務を考える—

やっぱり天皇はいらない—憲法状況の現段階(中)—

読者からのおたより

編集部だより

おわびと訂正

◇巻頭言◇ 「子供たちの夢」を実現させる

滝野 忠

国労闘争団との交流から

「JRに法的責任なし」とする解決案でいいのか

編集部

—闘争団・家族をこれ以上、悲しませるな—

資料1 JR不採用問題の打開について 与党と社民党間の合意

資料2 国鉄労働組合の声明

資料3 国労問題ILO勧告に関する共同の呼びかけ

資料4 記者会見(要旨) 自民党の甘利明副幹事長、社民党の浜田健一政審会長

資料5 甘利副幹事長(JR不採用問題担当) 談話 自由民主党

政党間協議の成果

資料6 社会民主党幹事長 湧上 貞雄(談話)

二一世紀の鉄道労働運動として歩め

資料7 社会民主党幹事長 湧上 貞雄様 国労帯広闘争団団長・家族会会長

不当労働行為責任はどこにあるのでしょうか?

資料8 西日本旅客鉄道株式会社コメント

資料9 東海旅客鉄道株式会社コメント

資料10 全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)

「一〇四七名問題」の政治的解決の動向に対する見解

資料11 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)

JR不採用問題に対する「解決へ向けての政党間合意」に関する見解

資料12 全労連国鉄闘争本部事務局長 尾張部 伸勝

一〇四七名のJR不採用問題での与党・社民党の合意について(談話)

資料13 国労北見支部 執行委員長 酒井 直昭

全闘争団員、家族の声を聞け

資料14 国労鳥栖地区闘争団団長 原田 亘

「全面屈服」路線に強く抗議し、撤回を求める

続・「神の国」と天皇制

上野 建一

引き続き続く取り組みにもご支援を —神戸市長リコール運動の報告—

原 義弘

読者からのおたより



No.773(二〇〇〇年七月一日号)

◇巻頭言◇ 元氣もらった激励交流

「解決案」は受け入れられませんが

条件が出てこなければ開催を見送れ

国労音威子府闘争団

渡部 隆一

— 国労中執委、臨時大会の開催を指令 —

国労本部の「見解」はバラバラ？ — 三つのブロックオルグから —

国鉄闘争の立て直しを — 六・一〇 四北海道交流団の旅 —

赤峰 正俊

◇資料1◇ 「解決案」を撤回し、闘争団要求に基づく解決実現を目指す意見書(名寄闘争団)

世界的な連帯闘争よびかけよ

◇資料2◇ 鹿児島地方闘争団の抗議声明(二〇〇〇・六・七)

「解決案」受け入れは背信行為、撤回を求める

なにかから始めるべきか — 自治体関連労働者組織化のとりくみ —

鈴木 勉

南北首脳会談直前の北朝鮮

杉森 弘之

— 歴史の変わり目の中の朝鮮民主主義人民共和国訪問記 —

現代政治状況と総選挙のゆくえ

読者からのおたより

灰原 茂雄さんを偲ぶ会 — 七月八日(土)、午後一時、東京・八丁堀「労働スクエア」で —

国労の闘う路線と方針を堅持し、全体が納得のいく解決を目指そう

国鉄闘争勝利！ 六・三〇全国集会 — 労働運動には越えてはならない一線がある —

No.774(二〇〇〇年七月一日号)

◇巻頭言◇ 「鞍馬天狗」再び

斉藤 二郎

日本政治は本格的混迷期に突入

上野 建一

闘争団の意見に耳を貸せ — 「北海道国労闘争団」から得たもの —

永田 悦子

国労臨時大会の報告

注目されるJR労働戦線のゆくえ — 「四党合意」とJR内労組の動向 —

資料1 「四党合意」撤回、臨大中止を(国労二十一闘争団・有志の意見書・六月二八日)

資料2 国鉄闘争勝利！全国集会「私達の訴え」(六月三〇日)

資料3 JRに「法的責任あり」緊急集会「アピール」(六月二七日)

資料4 国労の決断を支援(九州ブロック各県労働組合連絡会議「声明」、六月二十一日)

資料5 JR東日本の「民主化」を実現する三組合共同声明(三月二九日)

資料6 今後とも国労・闘争団に支援・連帯(全労協「見解」六月一九日)

資料7 基本方針・基本要求を堅持(全労連「談話」六月二九日)

朝鮮半島で歴史的一步 — 南北朝鮮首脳会談の意義 —

横堀 正一

◇資料◇ 北南共同宣言(二〇〇〇年六月十五日)

◇茨城県東海村からの報告◇ JOC事故後、村民意識に大きな変化

杉森 弘之

住民投票条例制定へ署名運動も

読者からのおたより

編集部だより

No.775(二〇〇〇年七月二一日号)

滝野 忠

◇巻頭言◇ 春闘「見直し」、本格化へ  
競争には「団結強化」で立ち向かう

— 私たちの二〇〇〇年春闘総括(二) — 京成労組乗務分会

◇座談会 総選挙をふり返る(上) ◇ 加速する自民支持基盤の動揺

名古屋 哲一

「たたかってよかった」の花咲かせたい 高坂 陽光

勝利したC O 外泊送迎裁判 — 四・二五判決の意義と内容 — 弁護士 津留 雅昭

嵐について追悼集会 — 「灰原茂雄さん追悼集会」から —

トイレに置き去り — 「介護一〇番」 — 介護保険の矛盾、次つぎ明らかに —

偽造防止「技術」のかたまり — 二千円札、見ましたか —

◇読む、詠む、積ん読◇ 「生きる」(創刊号)

読者からのおたより

No.776(二〇〇〇年八月一日号)

◇巻頭言◇ 世界からとり残される日本

労働組合への信頼が団結つくる 京成労組乗務分会

— 私たちの二〇〇〇年春闘総括(二) —

佐野 周二

「首切り」は納得できない — 国労帯広闘争団・二十一人の十三年 —

◇資料と解説◇ 臨大「休会」をめぐるさまざまな動き

◇資料1 「解決なき臨時大会」の再開に反対し、国労の良心に訴えるアピール(七月十一日)

国労の仲間と良心に訴える

◇資料2 「休会」の取り扱いに関する申し入れ(二十一闘争団・有志、七月十一日) ◇

具体的解決案提示なき続開大会は認められません

◇資料3 『とうそうだん わっかない』第二四一、七月五日 ◇

臨大休会の責任は組合民主主義を無視し

十分な討論を保障しないまま大会を強行した本部にあります

◇資料4 大会休会についての国労北海道本部見解(七月四日) ◇

早期に臨時大会開催を

◇資料5 国労臨大休会に対する声明(佐賀県労働組合会議、七月七日) ◇

最後の「政治解決」へ体制つくれ

◇資料6 国労東京地方本部中央支部第一三回定期支部委員会委員会宣言(七月八日)

納得できる解決える道をさぐれ

◇座談会 総選挙をふり返って(中) ◇ 小選挙区制はやっぱり天下の悪法

◇投稿◇ 現代の「長期抵抗・統一路線」つくる 河野 康臣

読者からのおたより お知らせ

次号は八月一一・二二号の合併号となります。発送日は八月中旬になります。

No.777(二〇〇〇年八月一・二一日号)

◇巻頭言◇安全は生活・労働の現場から

「雪印事件」に何を学ぶか

「IT革命」と政治

上野 建一

規制緩和に国境をこえ、闘いを組織

—規制緩和に反対する「労働者サミット」から—

【親愛なる国労組合員の皆様へ】二〇〇〇年七月一九日

「窮鼠猫（きゆうそねこ）を噛（か）む」

佐藤 昭一

現象でなく、本質の議論を！

勝利をつかむ日まで応援 —国労闘争団を訪ねて—

赤塚 房敏

国労闘争団・家族がんばれと全国で集会 —大分集会からの報告

赤峰 正俊

労働運動は新たな転換点へ —組合大会の焦点—

報告（一）労働大会のポイント—「春闘」改革、産別統合などが焦点

報告（二）国労「四党合意」に強い関心—JR連合は国労との合同も示唆

報告（三）すすむ産別再編成

報告（四）政党支持—連合は政治センターへの「一元化」意図

報告（五）春闘改革をめぐって—主導組合は鉄鋼から電機労連へ

嵐をついて前進するために

滝野 嘉津子

読者からのおたより

編集部だより

No.778(二〇〇〇年九月一日号)

◇巻頭言◇大原社研と向坂文庫

滝野 忠

つねにバカをみるのが労働者 —「ゼロ金利政策」解除と労働者—

組合員の「復権」が組合運動の課題

—労働組合大会の報告—

◇投稿◇民主的な手続？で「民主一本で総選挙」

G市労連のその後（一）

能力・成績主義を強化

—東京都が大「人事制度」改悪案—

ビビリながらの一步前進

末松 至

—神戸市長リコール運動、私の教訓—

「お父さんの夢かなえて」とお礼状

—音威子府闘争団の子供たち—

これからも応援して下さい

夏休み一番の楽しい思いで

藪本 美沙  
村井 祥美

読者からのおたより

No.779(二〇〇〇年九月一日号)

◇巻頭言◇ これからはじまる「オキナワ」  
十分で閉会、十月定期大会へ

― 国労統開大会の報告―

◇資料1 国労臨時大会での委員長あいさつ(全文・八月二六日)◇  
定期大会代議員選と合わせ「四党合意」で一票投票

◇資料2 二〇闘争団・有志の国労本部への申し入れ(八月九日)◇  
解決案なき統開大会は中止すべき

◇資料3 二〇闘争団・有志の国労本部への申し入れ(八月二二日)◇  
解決案なき「J.Rに責任なし」のみ統開大会は中止を

◇資料4 全国大会代議員の国労本部への申し入れ(八月二四日)◇  
聞け! 職場の叫び

統開大会は「人権を破壊し」「人道に反する」暴挙!  
改憲阻止・反合理化闘争の強化を

― 私鉄総連大会の傍聴記―  
今は自分に問い直す時期

― 神戸市長リコール運動、私の教訓(下)―  
「指導者」と責任

読者からのおたより

末松 至

No.780(二〇〇〇年九月二一日号)

◇巻頭言◇ 教育勅語から教育基本法へ

伊勢 太郎

◇向坂文庫I 洋書と洋新聞・雑誌◇

大原社研

社会主義文献の世界的宝庫

渡辺 治先生、どうしたの

― 総選挙分析、共産党の敗因をめぐって―

【親愛なる国労組合員の皆さんへ(上)】

「四党合意」の是非を問う―全組合員の一票投票に問題あり

佐藤 昭一

「民」の英知がくらしを高め、政治を変える

稲葉 耕一

― 吉野川可動堰反対運動に学ぶ―

納得いく医療の確立

滝野 嘉津子

― この夏、ふたりの母の経験から―

読者からのおたより

No.781(二〇〇〇年一〇月一日号)

◇巻頭言◇ 教育基本法へ

伊勢 太郎

◇向坂文庫Ⅱ 和書、堺利彦、旧蔵書、「大逆事件」◇

大原社研

日本社会・労働運動の文献の宝庫

運動の可能性を学ぼう

—最近、仲間達に学んだこと—

稲尾 聡

「次の一步を踏み出す準備」を自問自答

—八・二六「国労統開臨時大会」に連帯して—

【親愛なる国労組合員の皆さんへ(下)】

佐藤 昭一

一票投票の効力はあるのか

「四党合意」の是非を問う

滝野 嘉津子

「払えない」「サービス減らすしかない」

—今月から六五歳以上の介護保険料徴収—

小西 純一郎

市民からの通報で首

小西 純一郎

—尼崎郵便局でこんなことがありました—

横堀 正一

京コン闘争の教訓を、たたかう全ての労働者の共有財産へ

—「だって、やっぱり許せへん! ドキュメント京コン闘争」のすすめ—

読者からのおたより

No.782(二〇〇〇年一〇月一日号)

◇巻頭言◇ 「奉仕」は現代的「徴兵制」論

伊勢 太郎

教育改革国民会議「中間報告」から

◇向坂文庫Ⅲ 新聞・雑誌・年鑑◇

注目すべきは明治・大正期の新聞

大原社研

値上がりつづく原油価格

—その原因は?—

◇労組大会の特徴について◇

成果・成績主義に傾斜

労働条件より企業基盤確立が優先

◇投稿◇ 民主的な手続き?で「民主一本で総選挙」

G市労連のその後(二)

人事交流は組合つぶし

—A同志の強制配転で考える—

代議員選挙たたかっています

—歯止めをかけるのは今しかない—

読者からのおたより

No.783(二〇〇〇年月一〇日二二号)

◇巻頭言◇ 北海道の旅

滝野 忠

闘いは人間的なもの発露

— スポーツ、芸術の秋を考える—

日本経営者団体連盟(日経連)、経団連との統合、具体化へ

「郵政公社化」研究(上)

◇向坂文庫IV 逐次刊行物・和雑誌・原資料◇

驚異的コレクション

大原社研

防災より国防を強調の石原治安訓練

全労協

— 関東大震災での虐殺をくり返すな—

鈴木賢二論文集

人とし生きるために

私鉄労働運動の階級的強化に寄せて

国労全組合員投票 賛成五五%

— 東日本では賛成は五〇・一%—

◇国労闘争団の仲間からのおたより(上)◇

「国鉄闘争」と国労は私が選んだ道

赤峰 正俊

「団結まつり」は十一月三日

読者からのおたより

No.784(二〇〇〇年一月一日号)

◇巻頭言◇ 都教育庁幹部「情報」を漏洩!?

全労協・東京都学校ユニオン

— 地公法違反の責任をとれ—

労働運動再建の条件

— 労働情勢のポイントについて—

「郵政公社化」研究(下)

◇国労闘争団の仲間からのおたより(下)◇

「国鉄闘争」と国労は私が選んだ道

赤峰 正俊

十一月大会で路線転換する共産党

上野 建一

闘いの記録がシンホニーに昇華

— 「だってやっぱり許せへん!ドキュメント京コン闘争」のすすめ—

読者からのおたより

No.785(二〇〇〇年一月一日号)

◇巻頭言◇ N T T労働者をめぐる二つの情況

「公社化にふさわしい体制づくり」に抗して

—全通労働運動の諸問題—

神だのみ? いやタレント頼みの非拘束名簿式

国労大会、またまた休会へ

—「四党合意」時間切れで不採択—

◇資料1 代議員十名による「質問趣意書」(二〇〇〇年十月二八日) ◇

「四党合意」について明確な答弁を

◇資料2 国労闘争団・有志アピール(二〇〇〇年十月一八日) ◇

「四党合意」承認でなく、闘いで交渉前進めざす大会方針確立を

◇資料3 北海道「十勝連帯する会」アピール(二〇〇〇年一〇月二六日) ◇

勝利解決まで国労闘争団を支援

今後のとりくみを提起したい

阿部 國夫

—がんばれ国労闘争団「えひめ集会」から—

我以外はみな我師なり —耳をすませ目を光らせ—

戦後民主主義への「魂込め」(マブイぐみ)として

毛利 孝雄

—沖繩再訪の旅から(上)—

読者からのおたより

No.786(二〇〇〇年一月一日二二号)

◇巻頭言◇ 山下けいきからあなたへの手紙◇

山下 けいき

憲法は私の原点、応援歌

「教育勅語」そして「教育基本法改悪」

—「奉仕」と「献身」で「道徳」を強調—

「日の丸・君が代」の反動強制 —その現状と反撃の闘い(上)—

JOC、住友金属、政府の責任を追究

—「JOC臨界事故を風化させない」全国住民の集いから—

◇資料 JCO臨界事故一周年全国集会決議(九月三〇日) ◇

脱原子力にむけ原子力政策転換を

資料と解説◇

東京地裁「採用差別事件」に不当判決

不当な判決、ただちに上告手続き —東京高裁判決への国労声明—

言葉だけではない「統一と団結」

大塚 幹六

—国労全国大会の報告—

「辺野古の小屋」が紡ぐ平和の営み

毛利 孝雄

—沖繩再訪の旅から(中)—

読者からのおたより

No.787(二〇〇〇年二月一日号)

山村 竜

◇巻頭言◇ 四色の「人間の鎖」で基地包囲

創意と工夫で「あいばの集会」大成功

地域労働運動強化は労働運動の再生の「二環」

―二つの地域労働運動の集会から―

急展開する朝鮮半島情勢 ―朝鮮統一運動全国集会「基調報告」(上)

「もの言わぬ教師」にはならない

―「日の丸・君が代」の反動強制に抗して(下)

医療労働者が絶対的になりたらない ―医療ミスの防止策とは?―

自民の党内抗争、アメリカ大統領選

グローバリズム(開発と競争)なのか、

毛利 孝雄

―沖繩再訪の旅から(下)―

有期雇用、パート増大からみえてくる課題

―二〇〇一年春闘にあたって―

読者からのおたより

編集部だより

No.788(二〇〇〇年二月一日号)

黒崎 隆雄

◇巻頭言◇ 『今』を三池から考えたい

なぜ変わった「ILO勧告」!

―入口段階で許してはならない法的責任なし―

◇国労音威子府闘争団からのお便り◇

ビデオテープご活用ください

大衆行動から大衆闘争へ ―乗務員分会名札着用問題をめぐって―

生活設計は大番狂わせ

―労働組合に組合員の権利を奪う権限はない!―

問われる日本の「謝罪と補償問題」

―急展開する朝鮮半島情勢(下)―

分子エレクトロニクスの発展より、身体への危険性の研究を

―「伝導性高分子」応用は何をもたらすか―

郵政省は「人事交流」と称する強制配転を直ちに止めよ

―全通鴨川・西北・洛陽三支部合同抗議集会に怒りの結集―

なぜ満一八歳で「奉仕活動」か

―民主教育の課題をつかむ―

◇パンフ紹介◇

地域から見た『びわこ空港』 ―何を得て何を失ったか

読者からのおたより

編集部だより



No.789(二〇〇〇年二月二二日号)

◇巻頭言◇労働者は組織されなければならない  
衆議院選挙戦そして国鉄闘争

―二〇〇〇年をふり返る―

十三年の歳月が透けてみえる！『うめき』が聞こえる！

―スライド・小冊子『首切り』は納得できない―国労帯広闘争団(一)人(一)年―

今村 稔

「心の躍動」復活こそ三池ルネッサンス

―関西で三池闘争四〇周年記念集会―

伊勢 太郎

「フジモリ事件」で政局は再び激動か

―「二重国籍者」フジモリと日本政治―

国労稚内闘争団

「四党合意」では公正な補償にはならず

―ILO勧告についてこう考える―

まず規約改正、そして自衛隊承認

―「共産党改革論」の第一段階―

資本の賃金抑制攻撃をうち破れ

―財界の基本戦略とわれわれの課題―

読者からのおたより